

令和7年度 中央区運営方針

資料2

(所属長 : 松田 彰久)

「目標」「使命」及び「所属運営の基本的な考え方」	
目標	「世界中の人たちが、繰り返し訪れたいくなる“にぎわい”のまち」「つながり、支え合う、ずっと暮らし続けたい“ふれあい”のまち」の実現
使命	<p>“にぎわい”と“ふれあい”あふれるまちづくりを推進するため、次の使命を担う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の福祉マインドを強化し、区民に寄り添い、気にかけて、気づき、必要な支援につなげる ・区民に生活の質向上を感じてもらえるよう、ICTを活用し行政サービスの利便性を高める ・戦略的な情報発信により、必要な時に必要な情報を区民に届ける ・公民連携して協働することにより、地域住民、商店会、企業・団体、大学等それぞれの持つ力を生かす
令和7年度所属運営の基本的な考え方	<p>市内中心部に位置し、人口流動性が高く、マンション等共同住宅の居住者が9割を超える当区の特性をふまえ、マンションコミュニティと、行政、地域コミュニティが、より柔軟に“ゆるやかにつながるまちづくり”を各経営課題共通の考え方とし、次の4つの視点でのまちづくりに取り組む。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 繰り返し訪れたいくなる、快適でにぎわいのあるまちづくり 2 安全・安心で快適に暮らせるまちづくり 3 子どもの未来をみんなで育むまちづくり 4 ふれあいのある誰もが幸せに暮らせるまちづくり

重点的に取り組む経営課題

経営課題1 繰り返し訪れたいくなる、快適でにぎわいのあるまちづくり

5決算額

22百万円

6決算額

30百万円

7予算額

80百万円

課題認識

(にぎわい)
 ・まちのにぎわいづくりに取り組む商店会、企業、関係団体等と連携・協働し、2025大阪・関西万博のその先をも見据え、地域が活性化し、持続的にまちがにぎわうよう取り組んでいく必要がある。

(環境浄化)
 ・2025大阪・関西万博の開催にあわせ、まちの環境美化にかかる区民の意識をより向上させる必要がある。

主な戦略
(課題解決の方策)

(にぎわい) 多彩な魅力の創出と情報発信による持続的なにぎわいづくり
 ・行政機関と商店会や企業、関係団体等と連携・協働し、地域や近隣に住む人々に愛され、世界中から多くの人々が「繰り返し訪れたいくなる」魅力を創出する。
 ・2025大阪・関西万博の開催にともなう来場促進とも連動させながら、歴史や文化に彩られ、なおもダイナミックに変容していくまちの魅力を戦略的に発信していく。

(環境浄化) 区民との協働による快適なまちづくり
 放置自転車やごみのポイ捨て、路上喫煙など、まちの環境課題について、地域と関係機関と協働し、自転車利用の適正化や路上喫煙対策などまちの環境浄化に取り組む。

アウトカム
指標

(経営課題の解決に向けた進捗度を示した指標)

(にぎわい)
 中央区役所と商店会、企業、関係団体等が協働で発信する「まちの魅力情報発信コンテンツ」の閲覧数：前年度実績以上（令和6年度実績：591,922件）

(環境浄化)
 まちの環境美化活動に参加したボランティアの数：前年度実績以上（令和6年度実績：延べ1,129人）

アウトカム
指標の達成状況
(定量評価)

7年度実績と達成状況 ※A：達成 B：未達成

前年度実績

600,335件

A

591,922件

1,828人

A

1,129人

経営課題2 安全・安心で快適に暮らせるまちづくり

		5決算額	6百万円	6決算額	6百万円	7予算額	7百万円
課題認識	<p>(防災)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マンション居住者の多い当区の特性に合った具体的な防災行動につながるよう、さらなる普及啓発が必要である。特に、地域と関わりの薄いマンション居住層へのアプローチ手法を新たに構築する必要がある。 ・当区は大阪市で最も昼間人口が多く、昼間に大規模災害が発生した場合には多くの人が帰宅困難になることが想定されている。 <p>(防犯・交通安全)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区民の犯罪被害を防ぐための普及啓発に継続して取り組んでいく必要がある。 ・交通ルールの周知、交通安全に対する意識の向上を図る必要がある。 						
主な戦略 (課題解決の方策)	<p>(防災)「マンション防災」を軸とした地域のつながりづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来からの地域防災組織への支援を継続するとともに、マンション居住者向けの講演会や出前講座などによりマンション固有の防災対策の必要性を啓発する。 ・マンションの管理会社・管理組合にアプローチし、マンション単位での防災の取組状況や課題を把握し、ニーズに合った支援をしていくことで、マンションコミュニティの防災力を高める。 ・帰宅困難者を生み出さないため、企業等が自ら帰宅抑制や備蓄などの対策をとるよう関係所属と連携する。 <p>(防犯・交通安全) 区民との協働による安全・安心で快適に暮らせるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・警察署と協力して防犯啓発活動等を実施するとともに子どもに対する犯罪を防止するなど、安全・安心なまちづくりに取り組む。 ・防犯キャンペーンを定期的実施するとともに、広報紙やホームページ等で効果的な防犯啓発活動の情報発信を行う。 ・警察署や交通安全協会等の関係機関と「交通事故をなくす運動」推進本部を組織し、交通安全及びマナーアップに向けた啓発キャンペーンや交通安全教室を実施する。 						
アウトカム 指標 (経営課題の解決に向けた進捗度を示した指標)	<p>(防災)</p> <p>防災訓練や出前講座、防災講演会の参加者数：前年度実績以上（令和6年度実績：約2,000人）</p>						
	<p>(防犯・交通安全)</p> <p>地域団体及び学校園等における防犯・交通安全講座参加者数：前年度実績以上（令和6年度実績：523人）</p>						
アウトカム 指標の達成状況 (定量評価)	7年度実績と達成状況 ※A：達成 B：未達成					前年度実績	
	3,094人					A	約2,000人
	566人					A	523人

経営課題3 子どもの未来をみんなで育むまちづくり

		5決算額	23百万円	6決算額	35百万円	7予算額	37百万円
課題認識	<p>(子育て)</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童虐待の懸念や子どもの貧困等、外からは見えにくい家庭内の課題を早期に見つけ支援につなげる必要がある。 保護者が孤立せず、安心して子育てできるよう仲間づくりや気軽に相談できる場が必要である。 <p>(子どもの学び)</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの学びを取り巻く環境は複雑化しており、新型コロナウイルス感染症拡大期以降の不登校児童生徒の増加等、学校園の実情に応じた学習環境づくりの支援が必要である。 区内では外国につながる児童生徒等がさらに増加している。学習支援だけでなく、本人や保護者が地域で孤立しないようきめ細やかな支援が求められる。 近年の都心回帰現象により、児童・生徒数が急激に増加し、一部の学校で教室数が不足することが見込まれている。その一方で、小規模校のまま推移する学校もある。こうした中央区内の教育環境が適切となるよう整備していく必要がある。 						
主な戦略 (課題解決の方策)	<p>(子育て) 安心して子育てができる環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 重大な児童虐待を防止するため、地域の関係機関・団体とのネットワークの拡充により、子ども・子育て支援体制を強化し、見守りや支援を要する子ども・世帯の早期発見・支援につなげる。 子育て世帯のニーズに沿ったより交流・相談しやすい場を提供するとともに、こうした子育て支援情報の発信を強化する。 <p>(子どもの学び) 子どもや学校を応援する学びのネットワークづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 区の子どもたちを取り巻く課題や学校園のニーズに応じた学びの支援に取り組む。とりわけ、新型コロナウイルス感染症拡大期以降増加している不登校児童生徒の支援に重点的に取り組む。 外国につながる住民が社会を担い自分らしく活躍できるよう、外国につながる子どもや若者、子育て中の保護者に対し、それぞれのライフステージに応じた支援を行う。 校地確保に困難をとまなう中、市教委をはじめ、全市の関係機関や保護者・地域と密に連携し、対話を重ねながら中央区の地域特性に応じた教育環境を整備していく。 						
アウトカム 指標 (経営課題の解決に向けた進捗割合を示した指標)	<p>(子育て)</p> <p>区内保育施設等との連携により、新たに見守りや支援につながった子ども・世帯数：前年度実績以上 (令和6年度実績：182件)</p> <p>(子どもの学び)</p> <p>登校支援等を実施した児童・生徒に継続的な登校の再開や不登校の状態の改善が見られる割合：前年度実績以上 (令和6年度実績：80.0%)</p>						
アウトカム 指標の達成状況 (定量評価)	7年度実績と達成状況 ※A：達成 B：未達成			前年度実績			
	191名			A			182名
	80.2%			A			80.0%

経営課題4 ふれあいのある誰もが幸せに暮らせるまちづくり

		5決算額	105百万円	6決算額	105百万円	7予算額	106百万円
課題認識	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や障がい者が安心して暮らせるよう地域での居場所づくりや見守りなどの支援を広げるとともに、支援に関する情報を必要とする方はもとより、全ての区民にしっかりと周知していく必要がある。 ・社会から孤立し支援につながらない、または複合的な課題を抱え支援が困難となる方が支援につながるよう行政機関・地域・区民が一体となって取り組む必要がある。 ・ライフステージに応じた生活習慣の改善及び介護予防活動により、生活機能の維持向上に取り組むことで健康寿命を延ばす必要がある。 ・医療と介護が必要となっても自宅で暮らし続けられるよう、地域包括ケアシステムを強化する必要がある。 						
主な戦略 (課題解決の方策)	<p>(地域福祉) 気にかけて、つながり、支え合えるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見守り相談室や支援機関と地域が連携し、高齢者等の支援を必要とする人の把握と見守り活動の充実を図る。 ・誰もが誰かを「気にかけて、つながり、支え合える」まちとなるよう、見守りのしくみや高齢者支援等に関する情報発信を強化する。 <p>(健康寿命) 健やかでいきいきと暮らせるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康寿命の延伸に向けて、各種がん検診・特定健診受診率の向上や健康増進・介護予防の普及啓発および在宅医療・介護を支援する関係機関の連携強化を図る。 						
アウトカム 指標 (経営課題の解決に向けた進捗割合を示した指標)	<p>(地域福祉) 地域福祉コーディネーター相談対応件数：前年度実績以上（令和6年度実績：15,254件）</p> <p>(健康寿命) 地域で開催するいきいき百歳体操等の登録者数：前年度実績以上（令和6年度実績：464人）</p>						
アウトカム 指標の達成状況 (定量評価)	7年度実績と達成状況 ※A：達成 B：未達成				前年度実績		
	14,071件				B		
	471人				A		
				15,254件			464人

【共通様式】

<p>自己評価 (運営方針全体の定性評価)</p>	<p>目標未達成となった取組が一部あるものの、「世界中の人たちが、繰り返し訪れたい“にぎわい”のまち」「つながり、支え合う、ずっと暮らし続けたい“ふれあい”のまち」の実現に向け、概ね順調に各取組を進めることができた。</p> <p>経営課題4の(地域福祉)「地域福祉コーディネーター相談対応件数」が前年度より減少したことについては、見守り対象者数の減少等が要因と考えられる。</p> <p>令和8年度からは、地域福祉コーディネーターの配置の見直し・見守り手法や対応時間の基準の設定に加え、より適切な評価指標を設定し取組を進めていく。</p>
<p>今後の方針</p>	<p>令和8年度は、近年の顕著な環境変化である「観光客の大幅な増加などに伴う環境課題の顕在化」「地域におけるつながりの希薄化」「外国人人口の増加」に対処していくことを意識しながら、これまでの4つの柱に「区役所機能の強化」を加えた次の5つの柱で区政運営に取り組む。</p> <ol style="list-style-type: none">1 繰り返し訪れたい、にぎわいのあるまちづくり2 人と人とのつながり、安全・安心なまちづくり3 子どもの未来をみんなで育むまちづくり4 ふれあいのある誰もが幸せに暮らせるまちづくり5 区役所機能の強化